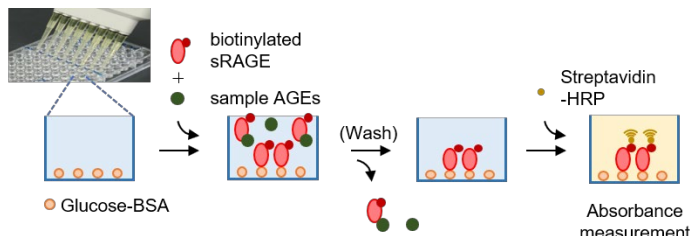


刺激性終末糖化産物検出技術の応用

糖尿病腎症を早期に発見できる可能性

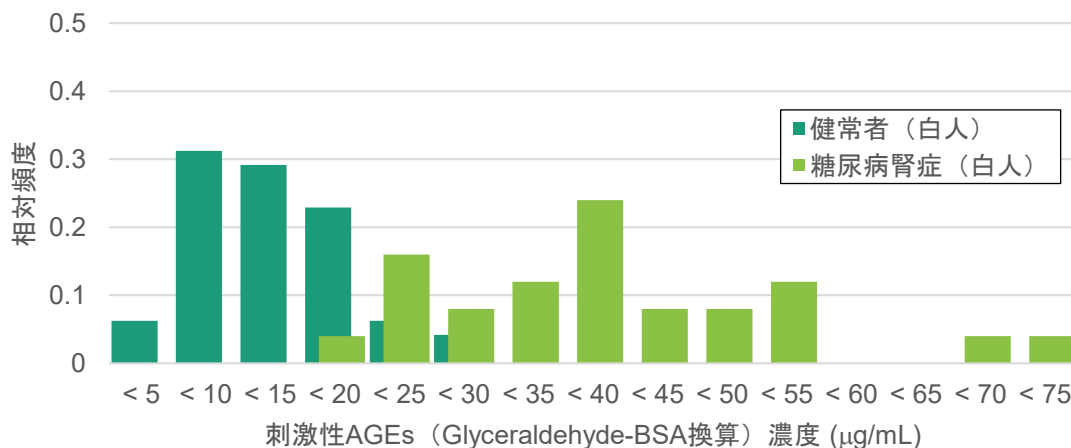
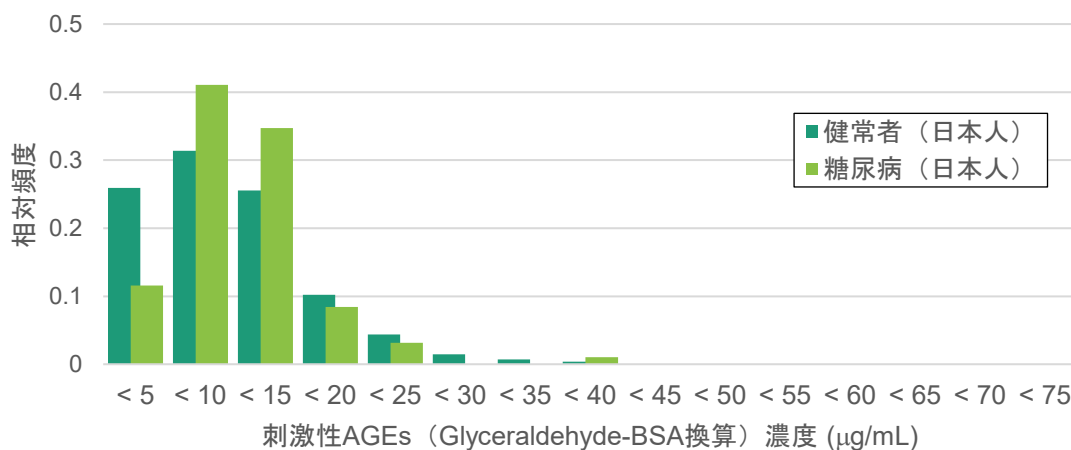
成果の特徴

- これまでに開発した刺激性終末糖化産物（AGEs）検出技術の応用事例です。
- ヒト血清の分析により、糖尿病腎症で刺激性AGEs濃度が高いことがわかりました。



成果の内容

生活習慣の乱れなどで生じた糖尿病の合併症の1つが糖尿病腎症です。本技術は、高血糖状態が続くことによって生成した刺激性AGEsを検出します。



成果の活用

本研究成果は、糖尿病から糖尿病腎症への進行、あるいは食事療法による糖尿病腎症の治療効果の測定等に利用できる可能性があります。

特開2020-134533「糖尿病診断技術」